

 にほんまつ

市議会だより

第62号

3月定例会

令和3年5月1日発行
(2021年)

発行:二本松市議会

編集:議会だより編集委員会

霞ヶ城公園の桜

円東寺の桜

予算審査特別委員会……P.2～3
定例会概要……………P.4～5
代表質問……………P.8～10

安達駅西口の智恵子像

住み良い二本松市のための予算を可決

予算審査特別委員会で新年度予算案を審査

今後10年間の市政運営の基本となる新しい「総合計画」に基づく令和3年度予算を審査しました。予算の決め方や使われ方について、当局への質問と委員間での議論が行われました。審査の一部を紹介します。

※議案第19号令和3年度一般会計予算において、安達ヶ原ふるさと村の道の駅登録に向けた計画策定委託料は、事業の進め方や予算・提案の在り方に問題がある。またコロナ禍などの状況を踏まえ、芝生広場整備事業等は慎重に対応すべきとの議論があり、予算審査特別委員会では賛成少数により否決すべきものと決しました。

芝生広場整備事業

意見 コロナ禍、令和元年台風19号、先日の福島県沖地震の被害の復旧も完了していない状況でもあることから、市民生活の安定を見てからの実施にしてほしい。
意見 事業費の圧縮、ランニングコストが最小限で済むように精査してほしい。

安達ヶ原ふるさと村運営事業

意見 基本計画を策定し、内容を示してから実施設計を進めるべきである。
意見 概算額も提示できない状況であり、基本計画と実施設計を同時に進めるのは拙速に過ぎるため、計画策定業務委託料については、減額または削除すべきである。

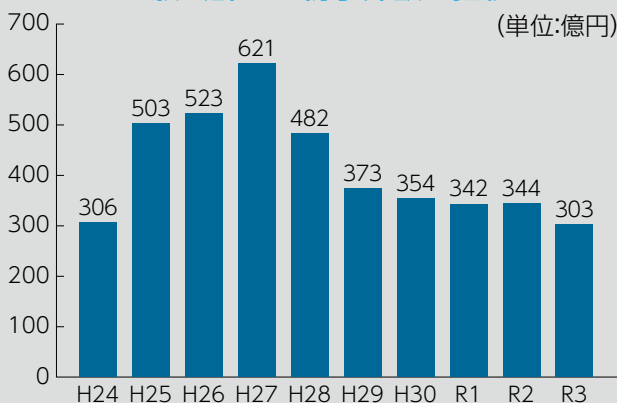
放射能除染事業

問 道の駅に向けた整備の概算額は。また、通常は基本計画を策定後、実施設計を進めるものと思いが、なぜ同時に進めるのか。
答 概算額については、今後進める基本計画の中で積算していきたくと考えている。また、期間の短縮と費用の抑制を図るため、基本計画と実施設計を併せて進めたい。

広報公聴事務

問 SNSアプリを使って行う事業の内容は。
答 火災や緊急情報のメール配信サービス、行政情報のチャットボットによる自動応答提供、市民からの道路や公共施設の被害などを写真と位置情報とともに通報機能の3点を計画している。

一般会計の当初予算額の推移



予算規模

会計区分	令和3年度予算額	令和2年度予算額	比較
一般会計	30,314,199	34,443,597	▲4,129,398 (▲12.0%)
特別会計	12,350,073	12,215,590	134,483 (1.1%)
企業会計	5,921,512	4,962,497	959,015 (19.3%)



長寿命化改修工事を行う二本松南小学校

後日、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響等を考慮し、予算内容の一部見直しを行うために議案第19号の撤回の申し出があり、本会議で承認されました。

その後、追加議案として、安達ヶ原ふるさと村運営事業及び芝生広場整備事業に係る予算の見直しを行った、令和3年度一般会計予算が提案されました。

学校施設整備事業

問 二本松南小学校長寿命化改修工事及び仮設校舎賃貸借業務について、3か年にわたる事業のスケジュールは。

答 令和3年度は仮設校舎の建設に向けての設計及び準備を進め、約4か月程度で完成することから、3学期から仮設校舎を利用しての学習となる。令和4年度は1年間全て仮設校舎での学習。令和5年度は1学期までの間には校舎の長寿命化改修が終了する予定で、子どもたちが仮設校舎で学習する期間は21か月見込んでいる。その後、仮設校舎の取壊しを行う。

生活保護適正実施推進事業

問 国からの新たな補助金により、生活保護者健康管理支援業務委託料やシステム料等が増えているが、その内容は。

答 生活保護受給者に係る健診やレセプトデータを拾い上げ、医療扶助の分析を行い、現状や課題を明確化し、生活習慣病の予防・改善につながる保健指導を実施することで、医療扶助の適正化及び生活保護受給者の健康状態の維持・改善を目指すものである。

空家等対策事業

問 不良住宅等除却費補助金について、1件当たり上限50万円で3棟分の予算を見ているが、空き家そのものは市内で何件把握しているのか。また、今後の進め方は。

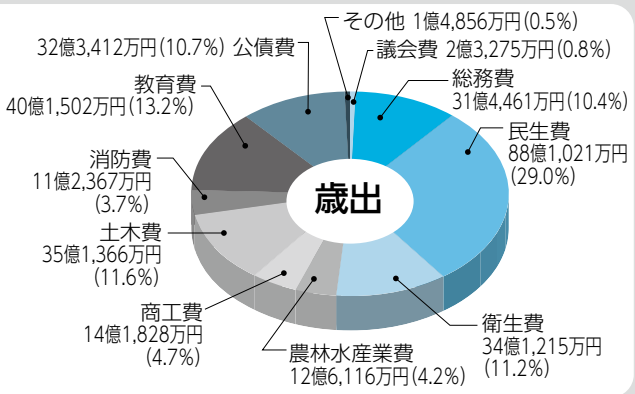
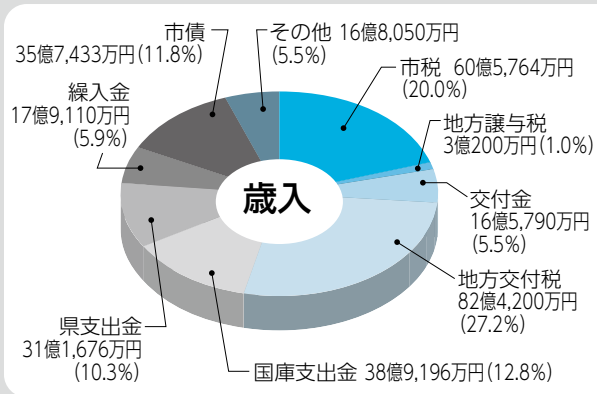
答 2月末現在で854件把握している。空き家所有者には、アンケートと併せて補助事業についても周知しており、数十件の方が興味を持たれ、補助希望や解体意向を示された。空き家所有者の意識もだいが変わってきており、今後積極的にPRを進め、物件の適正管理に努めていきたい。

DMO推進事業

問 職員を昨年の3名から4名体制にする理由と、予算の差額はどのくらいになるのか。

答 DMOは、これから二本松市の観光における中心的な組織として活動していく中で、事業内容についても精度を上げるため、職員を増やしてさらに観光推進していきたい。現在、職員は3名体制であるが、事務局長分は他民間事業者からの受入れのため、DMOから給与は支払っておらず、実質の人員費は2名分である。人員費の差額は2名分で、779万3,000円の増額となっている。

令和3年度一般会計 当初予算 303億1,419万円



議案第19号 令和3年度二本松市一般会計予算 など市長提出議案32議案

新年度各会計予算案、二本松市地方創生応援基金条例、二本松市岳温泉交流広場条例等を可決

令和3年度各会計予算案は、予算審査特別委員会において延べ7日間にわたる審査が行われた後、本会議で可決されました。令和3年度の一般会計当初予算総額は303億1,419万9千円で、景気の動向や地域経済の状況、新型コロナウイルス感染症による影響等を考慮し、前年度対比41億2,939万8千円、率にして12.0%の減となりました。

予算編成の基本的な考え方としては、新たな総合計画の4つの基本目標の実現に向けて、各種事業を積極的に推進し、新型コロナウイルス感染症対策、東日本大震災及び原子力災害による被害からの復旧・復興に係る施策を進めるとともに、限られた財源を有効に活用する姿勢で臨まれました。

このほか、法人からの寄附金を適正に管理し事業の財源に充てるための基金の設置に関する地方創生応援基金条例や、地域観光の振興による交流の拡大や地域の活性化を図るため、岳温泉交流広場の設置に関する条例についても審議され可決されました。

議案第14号 令和2年度二本松市一般会計補正予算

事務事業の執行結果による整理等補正予算案を可決

事務事業の執行結果や今後の見込みにより、歳入歳出予算を調整・整理するほか、国の第3次補正予算を受けての新型コロナウイルス感染症対策経費等についても措置した補正予算を賛成多数で可決しました。

補正予算の主なもの

○企業版ふるさと納税寄附金に伴う地方創生応援基金積立金	1,000万円
○杉田駅周辺整備事業費	2,000万円
○市民交流センター等指定管理施設に係る新型コロナウイルス感染症対策指定管理者支援金	1,950万円
○北消防署及び南消防署仮眠室個室化等に係る安達地方広域行政組合消防費負担金	2,366万円



杉田駅周辺整備の様子

議案第35号 令和2年度二本松市一般会計補正予算

新型コロナウイルス感染症対策経費としてワクチン接種事業予算案を可決

新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費を増額し、現計予算の総額に5,826万8千円を追加、予算総額を464億6,131万7千円とする補正予算案を全会一致で可決しました。

人権擁護委員候補者の推薦

服部 栄一さん(油井・再任) 遠藤 康子さん(成田・新任)

○市長提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第 4 号	二本松市地方創生応援基金条例制定について	原案可決
第 5 号	二本松市岳温泉交流広場条例制定について	原案可決
第 6 号	二本松市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 7 号	二本松市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 8 号	二本松市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 9 号	二本松市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 10 号	二本松市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員に係る基準、指定地域密着型サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 11 号	二本松市市道の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 12 号	二本松市中山間ふるさと水と土保全基金条例を廃止する条例制定について	原案可決
第 13 号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決
第 14 号	令和 2 年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第 15 号	令和 2 年度二本松市国民健康保険特別会計補正予算	原案可決
第 16 号	令和 2 年度二本松市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案可決
第 17 号	令和 2 年度二本松市水道事業会計補正予算	原案可決
第 18 号	令和 2 年度二本松市下水道事業会計補正予算	原案可決
第 20 号	令和 3 年度二本松市国民健康保険特別会計予算	原案可決
第 21 号	令和 3 年度二本松市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
第 22 号	令和 3 年度二本松市介護保険特別会計予算	原案可決
第 23 号	令和 3 年度二本松市土地取得特別会計予算	原案可決
第 24 号	令和 3 年度二本松市公設地方卸売市場特別会計予算	原案可決
第 25 号	令和 3 年度二本松市佐勢ノ宮住宅団地造成事業特別会計予算	原案可決
第 26 号	令和 3 年度二本松市茂原財産区特別会計予算	原案可決
第 27 号	令和 3 年度二本松市田沢財産区特別会計予算	原案可決
第 28 号	令和 3 年度二本松市石平財産区特別会計予算	原案可決
第 29 号	令和 3 年度二本松市針道財産区特別会計予算	原案可決
第 30 号	令和 3 年度二本松市工業団地造成事業会計予算	原案可決
第 31 号	令和 3 年度二本松市宅地造成事業会計予算	原案可決
第 32 号	令和 3 年度二本松市水道事業会計予算	原案可決
第 33 号	令和 3 年度二本松市下水道事業会計予算	原案可決
第 34 号	工事請負契約の締結について	原案可決
第 35 号	令和 2 年度二本松市一般会計補正予算	原案可決
第 19 号	令和 3 年度二本松市一般会計予算	原案可決

○委員会提出議案とその審議結果

議案番号	件名	結果
第 1 号	二本松市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	原案可決
第 2 号	二本松市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
第 3 号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	原案可決

○請願とその審議結果

受理番号	件名	結果
第 1 号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願について	採 択
第 2 号	安達地方仮設焼却施設の跡地利用に関する請願書	不採択

常任委員会の審査報告

総務市民常任委員会

一般会計補正予算について

問 名目津温泉管理運営経費及び道の駅「さくらの郷」管理運営経費について、新型コロナウイルス感染症対策指定管理者支援金の積算方法は。

答 今年度の指定管理料を含めた収入見込額と、支出見込額の差額の90%を支援金としている。

問 防災設備維持管理経費について、財源内訳の変更の理由は。

答 財源とする市町村振興協会市町村交付金は、当初、海外派遣事業へ全額充当する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で市民の翼が中止となったところである。そこで、この交付金が災害対策及び災害の予防のための事業にも充てられるため、防災設備維持管理経費に充当することとしたものである。

意見 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用については万全を期すこと。

※交付金の第3次分の限度額は4億220万8千円となっており、今回の補正予算で2億4,201万5千円を充当する。現在まで既に予備費等で支出した分を除き、残り1億3千万円程度が令和3年度に活用可能である。



机上審査の様子

産業建設常任委員会

二本松市市道の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例制定等について

○二本松市市道の構造の技術的基準に関する条例の一部を改正する条例制定について

問 自動運行補助施設とは何か。

答 自動運転車の運行を補助する施設で、道路下に磁気のマーカーや電磁誘導線、電子タグ等を埋め込むことで運行を補助するものである。

○市道路線の認定及び廃止について

問 市道路線の認定基準は。

答 基本的に幅4メートル以上で、原則として両側に側溝が設置されていること等の基準があるが、詳細については、二本松市市道路線認定基準として内規で定めている。

○令和2年度二本松市一般会計補正予算

問 ウディハウスとうわ管理運営経費の新型コロナウイルス感染症対策指定管理者支援金につい

て、指定管理料の金額は。また、年間の収支見込額は。

答 指定管理料は、税抜で1,374万5,400円である。その他の収入見込額906万9,249円を加えた収入見込みの総額は、合計2,281万4,649円である。また、支出見込額は2,600万円であり、年間収支見込みの差額は318万5,351円のマイナスである。



机上審査の様子

3月4日に付託された各議案は、3月15日に各常任委員会で詳細な審査が行われ、最終日18日の本会議で、各常任委員長から審査の経過と結果が報告されました。
各常任委員長から報告された審査の主な状況をお知らせします。

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算等について

○二本松市介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に関する入所定員に係る基準、指定地域密着型サービス事業者の指定の要件並びに指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例等の一部を改正する条例制定について

問 ケアプランについて、市へ届け出されたものに対して、市がどう関わるのか。

答 訪問介護の頻度が多い事業所について、事業所単位で抽出したプランの点検をし、介護保険給付の適正化を図っていく。

○令和2年度二本松市一般会計補正予算

問 芝生広場整備事業について、継続費で令和3年度5,800万円ほど増加しているが、なぜ増加したのか。

答 工事の前払い金として事業費の50%を支払わなければならないため増額となった。令和4年度分については、事業費の50%の額となり減額されているため、継続費の総枠での変更はない。



机上審査の様子

予算審査特別委員会

議案などを専門的、合理的、能率的に審査する常設の常任委員会のほかに、特定事件を審査するために特別委員会を設置することができます。

3月定例会では、令和3年度各会計予算を審査するため、予算審査特別委員会を設置しました。

3月5日及び8日に、全体会で机上での総括審査を行った後、分科会に分かれ質疑・討議が行われました。



代表質問

市の明日を考える!

3月定例会の代表質問は、3月4日に行われました。今定例会でも、新型コロナウイルス感染症対策として、長時間の三密を避けるため、登壇者を一会派一人のみに制限し質問時間の短縮に努めた結果、合計5人の議員により議論が展開されました。

主な質問については、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載いたします。



質問者ごとにQRコードを掲載しています。

スマートフォンなどで読みとっていただきますと、録画映像をご覧いただけます。

[発言順]

※新型コロナウイルスの飛沫感染防止対策として、議長席、演壇及び質問者席の3か所にアクリル板を設置しました。



平塚 與志一

[真誠会]

代表質問

多目的運動広場の今後の進め方は

上水道第7次拡張事業の計画は

問 多目的運動広場の今後の進め方を伺う。

答 多目的な機能を有する多目的芝生広場整備の今後の進め方については、出来るだけ経費を抑えるため、現在、実施設計の契約期間を延長して設計内容の精査を行っているところである。今後、造成・排水工事を発注し、令和3年度から令和4年度まで整備工事を行い、令和4年度末の完成を見込んでいるところである。

問 上水道第7次拡張事業の計画について伺う。

答 上水道7次拡張事業については、井戸水の安全性に問題がある地区や、生活用水確保に困窮している地区として、二本松地域の石井・大平地区、および安達地域の上川崎・下川崎地区の水道未普及地域解消を目的とした事業

であり、先の議員協議会にて、事業区域の素案について説明したところである。

今後の予定は、事業区域を含めた整備計画の案を作成し、5月中旬を目途に市長から水道審議会へ諮問し、6月下旬には答申をいただき、その答申内容については7月の議員協議会で報告する予定である。

市議会9月定例会において、拡張する給水区域等を加える水道条例の改正案を上程し、議案可決後、県へ水道事業変更認可申請書を提出し、県の認可を得て、配水管布設工事に着手する。



小林 均
[令和創生の会]

新型コロナウイルスワクチンの円滑な接種を！

コロナ禍の今、サッカー場整備事業は必要か？

問 接種率を含む進捗目標とスケジュールは。

答 接種率は各年代とも70%を想定。国の示した優先順位に基づき接種を行う予定。

問 ワクチン接種会場と、老人ホーム等への訪問による接種の考えは。

答 安達医師会と協議中だが、個別接種を中心に、日曜祝日は集団接種又は輪番制を検討。嘱託医や施設医がいる場合は施設での対応も可能。

問 ワクチン接種の予約と接種券の配布方法は。

答 完全予約制にする予定で、コールセンターで代行予約受付をする。クーポンの発送は、ワクチンの供給量に合わせて年代別に小分けして発送する予定。送付時期が遅れる可能性もある。

問 芝生広場整備にかかる市の実質負担額、返済期間、市民一人当たりの負担額はいくらか。

答 総事業費約10億7,200万円で、実質負担額は3億3,094万5千円。償還期間20年。市民一人当たり約6,180円の負担となる見込み。

問 福島・郡山広域連携中枢都市圏に参加する本市がコロナ禍の今なぜサッカー場整備なのか。

答 近隣の施設までの移動が容易でなく、利用できないことも多い。本施設の整備は交流人口の増加と、地域活性化につながると考える。

問 年間利用者数、団体数の見込みは。

答 年間3万7千人以上、760団体以上を想定。

コロナ禍における教育の問題点は

本市の農業政策と上水道第7次拡張事業は



安齋 政保
[市政会]

問 コロナ禍における、教育長の教育方針は。

答 第1に、新型コロナウイルス感染症対策を十分に行い、児童生徒の安全を担保しながら、全ての児童生徒が毎日安心して楽しい学校生活を送れるようにすることが大切である。第2に、学校の教育活動全体で、コロナ禍の時代に生きる児童生徒だからこそ、未来に対する夢や希望をしっかりとち、変化と困難が想定される社会の中でもたくましく、そしてよりよく生き抜いていくための「生きる力」を育てていくことが大切である。

問 市長がめざす農業政策とこれからの農業の課題は何か。

答 「地域のちから」を発揮できる環境をつくり、将来に渡り希望の持てる豊かな農業につなが

るよう、様々な農業施策に取り組み、一定の収入が得られる「持続可能な農業」を目指す。今後の課題としては、担い手確保に向けた新規就農者の育成、中山間地域で対応可能なICTを活用したスマート農業も視野に入れ、時代の様々な変化に対応できる農業経営。

問 上水道第7次拡張事業の今後の日程と計画は。

答 配水管布設工事の予定総延長がおおよそ20キロメートル、全体事業費が10億円程度、事業期間は、令和3年度から令和10年度までの8年間と見込んでいる。

新型コロナウイルス感染症対策と事業者支援



齋藤 広二

[日本共産党二本松市議団]

問 ワクチンの安全性への情報公開と個人の意思と判断で行われるべきでは。

答 市民に接種券を配布する際に、ワクチンに関する説明文を同封することにしており、個人の判断と意思で接種していただく。

問 ワクチン頼みでなく、感染者が減少傾向の今だからこそ、無症状者を含めた検査の拡充を同時並行で進めるべきでは。

答 検査を拡充すれば、早めに感染者の把握が可能となり、クラスターの爆発的感染は抑えられるが、一方で医療機関の圧迫になりかねず、さらなる負担をかけることになり同時並行で検査を行うことは難しい。

問 市の持続化支援金の第2弾がだされたが、県の協力金及び一時金の対象にならない50%

以上の売り上げ減の事業者に上乘せ支給を。
答 県が時短要請に応じた飲食店に、1日4万円の「協力金」と一律20万円の「一時金」を交付するもの。市は売り上げ減少率を20%以上と県より低く設定していることから現時点では考えていない。なお、今後の感染症拡大の動向と市内事業者への影響、財源となる国の交付金等を勘案して必要な支援策について検討していく。

そのほかの質問項目

- ・福島沖地震
- ・生活困窮者対策
- ・多目的芝生広場（人工芝サッカー場）整備



野地 久夫

[市政刷新会議]

市長政策の考え方は

「再生エネルギー推進事業」の考え方は

問 市内の電力の電力自給率100%となる「エネルギー地産地消」を達成する考えは。

答 平成30年に株式会社通称ゴチカンを設立、平成31年に固定価格買取制度（FIT）認定を88か所受け、令和2年までに3基の太陽光発電設備を設置した。発電事業や電力小売り事業はゴチカンの発展形である新電力会社が実施していく。今後、事業計画や収支計画が固まった段階で設立の方向性が示される。

問 安価な電力が供給され「新たな市民サービスの向上」が図られる考えは。

答 自ら発電した電力や電力市場からの電力を供給することは、「新電力会社」の事業と考えているので、「二本松市再生可能エネルギー100%復興自治体モデル構築事業」で可能性

調査をしたが、電気小売事業者が乱立、小売価格が下落、「電力供給」ノウハウが不備、自社電源の無い新電力会社は取引価格の影響が大きい等により、新電力会社の電力小売り事業は大変難しく慎重にならざるを得ない。



市内3か所目のソーラーシェアリング

3月定例会 討論

討論は、表決の前に議題となっている案件に対し、賛成・反対の意見を表明することをいいます。

市長提出追加議案第19号 令和3年度二本松市一般会計予算

反対

菅野 明 議員

二本松城跡整備事業は議会の質問などで、「三ノ丸復元を目指しているものではない」と述べているが、事業にかかる費用は今後10億円前後との試算もあり、こうした大型事業が今、本当に必要なのかが問われている。

新年度予算は市税の落ち込み、地方交付税の減額が見込まれ、合併特例債（借金）は令和12年度迄の期間で残り56億円余りしかなく、今のままだと2年半分しかない。コロナ禍で市民の暮らしを考えたとき反対である。

賛成

平塚 與志一 議員

令和3年度一般会計予算に賛成討論を行います。

この予算は、職員給与、議会の報酬、新型コロナウイルスワクチン接種費、生活保護費、災害復旧費等々、市全般における予算であり、一部の予算計上に対して全予算を反対すべきではありません。議員の皆さん、満堂の賛成をお願いし、賛成討論といたします。

請願第2号 安達地方仮設焼却施設の跡地利用に関する請願書

反対

加藤 建也 議員

原則として、請願とは公益性を重視するもので特定の人の為にするものではないので反対です。しかし、今回の件は環境省の事業として安達広域が進めているもので、その長である二本松市長に陳情に行き、話し合いが進まず、このような請願となった。だから、安達広域の長である市長が真剣に地権者の皆様の話を聞いていれば、安達広域で議論すべき案件をこのように二本松市議会で討論する筋違いの場にはならなかったはずです。

賛成

平栗 征雄 議員

広域自治体での焼却処分場建設に難儀してきました。ようやく令和3年度中には焼却処分、搬出完了の見通しです。私達の環境改善に大きく寄与していただいた地権者の皆さんや地域の皆さんに対し、哀心より感謝申し上げます。請願先は安達地方広域行政組合管理者並びに二本松市長であり、請願者に対しその意を汲み取り、用地の有効利用と東和地域の活性化の為に何らかの誠意を示すべく努力と協力は必要ではないかと考えています。

賛成

野地 久夫 議員

この施設は放射能汚染物を焼却し減量化する大変重要な施設で、私達の環境改善に協力を頂いた施設です。地権者と地域の皆さんの並々ならぬご協力で設置され感謝と御礼を申し上げます。事業主体は環境省と安達地方広域行政組合で、管理者の三保市長に要望書を提出しても何の対応もないので、さらに議会から意見書を提出するよう望むものです。用地の有効利用と地域活性化を望むもので、対応すべく何なるの誠意と努力は必要と考え賛成する。

賛成

佐藤 源市 議員

仮設焼却施設は、二市一村で保管の農林系及び可燃性除染廃棄物10万8千トンを経済省と安達地方広域行政組合が減容化するもの。この施設は平成28年6月に事業費177億円で、戸沢字熊ノ久保地内に設置決定。設置に至っては、地域と地権者は血の汗が流れる激論の末、安達地方、二本松市民の為に受け、現在、減容化焼却、本宮市台風ガレキ処理も行い、今後は公共利用、企業誘致し、安達東部発展へ有効活用を図ることを望み賛成する。

3月定例会賛否一覧

(これ以外の案件等は全会一致で可決されました。)

番号	件名	議決結果	市政刷新会議					真誠会				市政会			日本共産党 二本松市議団		令和創 生の会			会派に 属さな い議員		賛 成	反 対		
			野 地 久 夫	佐 藤 運 喜	鈴 木 一 弘	斎 藤 徹	平 栗 征 雄	佐 藤 源 市	平 塚 與 志 一	佐 久 間 好 夫	佐 藤 有	坂 本 和 広	堀 籠 新 一	安 齋 政 保	小 野 利 美	熊 田 義 春	斎 藤 広 二	菅 野 明	平 敏 子	本 多 俊 昭	小 林 均			石 井 馨	加 藤 建 也
議案第14号	令和2年度二本松市一般会計補正予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	17	4
議案第19号	令和3年度二本松市一般会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	18	3
請願第2号	安達地方仮設焼却施設の跡地利用に関する請願書	不採択	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	6	15	

※○は賛成、●は反対、退は退席。 ※議長（本多勝実）は採決に加わっていません。

令和3年第1回（1月）臨時会

1月臨時会は、1月28日に開催されました。
提出された議案は、訴えの提起2件と補正予算で、審議の結果、全会一致で原案可決しました。
主な内容は次のとおりです。

◎訴えの提起について

- ・市営住宅に係る滞納家賃の支払いを求めるため訴えを提起するもので、地方自治法第96条第1項第12号の規定に基づき議会の議決を求めたもの。

◎令和2年度一般会計補正予算

- ・新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費を措置しました。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業について、予算を翌年度に繰越して執行するため、繰越明許費に追加しました。

傍聴者の 声

福島大学 菅野 梨月 さん

今回、NPO法人ドットジェイピーの議員インターンシップの活動の一環として、議会傍聴をさせていただきました。

初めての議会傍聴でしたが、住民の意見にも耳を傾けた上で改善するための議論がされていることが分かりました。

議会の内容は、新型コロナウイルス感染症対策や施設の運営についてなど私たちに直接的に関わるものばかりで、議会は市民の生活を左右する重要な場であるということを感じました。

また、二本松市のより良い未来を考える議員の皆さんの思いが伝わってきて、私たち自身ももっと政治に関心を持ち、参加していかなければならないと思いました。

福島大学 星 優作 さん

二本松市議会を傍聴して、各議員が二本松市に関わる大小の課題をしっかりと話し合っているのが印象的でした。

市町村の議会は初めて傍聴したのですが、国や県の議会と違い、より市民に近い課題や問題を議論していた印象が残っています。

自分はまだ大学1年生であり、政治や議会については、まだまだ分からないことが多いため、この二本松市議会傍聴をきっかけにして学んでいきたいと考えています。

全ては政治につながっていると以前言われたことがあります。今回の議会傍聴によって、市民生活は全て政治につながっていて、政治から地域を知るといふことの大切さを感じることができました。



インターンシップの学生のみなさん

市議会だより編集委員会

〒964-8601 二本松市金色403番地1
TEL 55-5144 (議会事務局) FAX 22-6047
E-mail gjjichosa@city.nihonmatsu.lg.jp

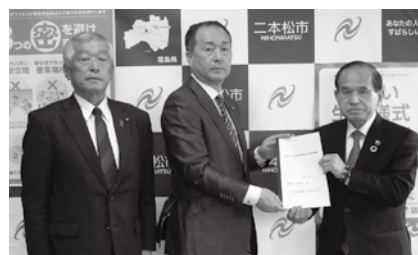


～二本松市議会災害対策会議～
**令和3年2月福島県沖地震に係る
 緊急要望書を提出しました**

二本松市議会では、2月26日、市に対して福島県沖地震に係る緊急要望書を提出しました。その全文を紹介します。

新型コロナウイルス感染症対策も含め、市民の皆さまの不安が解消されますよう、今後も引き続き、要望を重ねてまいります。

本多議長と堀籠副議長が三保市長へ要望書を手渡しました



令和3年2月福島県沖地震に係る緊急要望書

令和3年2月13日に発生した福島県沖を震源として発生した地震は、本市においても最大震度5強を記録し、この地震によって、道路や住宅、事業所・商業施設、学校教育施設・文化施設など、市内各方面に甚大な被害を及ぼしました。

これまでも市民の生活は、令和元年東日本台風による被災や新型コロナウイルス感染症への対応など幾重もの困難に見舞われており、さらに今般の地震による市民生活や経済活動への打撃は深刻です。

特に、県が新型コロナウイルス感染症への緊急対策として実施していた外出自粛要請や県内飲食店等への営業時間短縮要請等を今月14日に解除し、本格的な経済活動等の再開に向け準備を進めていた矢先であり、市内事業者を始め市民の精神的及び経済的負担は計り知れません。

これらのことから、特に下記の事項を速やかに実現されますよう強く要望いたします。

記

- 1 被害状況の早期調査・早期復旧について
被害認定調査業務を迅速に行い、早期復旧・早期支援に努めること。
- 2 被災者の生活再建の支援について
被災者へ適切な支援を早急に行うこと。
罹災証明書発行手数料を免除すること。
- 3 被災事業者の支援について
被災した事業者に向けた支援策を講じること。
- 4 防災・減災に対する対策について
市民の安全・安心の確保を図るために、防災・減災の取組みを更に強化すること。

編集後記

去る三月二十八日、安達駅西口広場にて、智恵子像「今、ここから」の除幕式が行われました。新たな観光地として二本松市発展のシンボルとなって行くことでしょう。

今年は今までになく、桜の開花も早くびっくり。その桜も厳しい冬を経て、美しい花を咲かせるとのことです。

東日本大震災、東京電力の原発事故、続く地震、そして新型コロナウイルス感染症と市民の皆さんにとっても長く苦しい、耐えねばならない時ではありますが、桜のようにその先には、きっと美しい花が咲き、穏やかな日々が待っていると信じています。

「今、ここから」未来へ向けて新しい生活様式の中で、希望と夢が持てる安定した時代へ、皆で力を合わせ、共存共栄できる社会を目指して行きますよ（安齋）



編集委員会
 委員長
 副委員長
 委員

堀籠 新一
 鈴木 一弘
 安齋 政保
 本多 俊昭
 加藤 建也
 佐藤 運喜
 佐久間 好夫



新殿神社の岩桜



祭田の桜



福田寺の糸桜



永田中央会館のしだれ桜